

不安と孤立を見捨てない 石坂わたる

たつこの通信

VOL.06 中野区議会議員・無所属
2012. Nov. (11月号)



http://ishizakawataru.net/ twitterID: @ishizakawataru 編集・発行: 共生中野
〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL: 03-6304-8758 E-mail: 09wishizaka@mbr.nifty.com
【中野区議会】 〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL: 03-3228-8874(無所属控室)



石坂わたる: 1976年生まれ。養護学校教諭、区立 第七中学校・第十中学校 介助員などを経験し、平成23年、中野区議会議員選挙にて初当選。精神保健福祉士、行政書士。

今年は9月以降も暑い日が続きましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
昨年夏の被災地ボランティアから約1年。今夏も宮城県東松島市と石巻市に、ボランティアと視察に行っていました。
東京にいますと、震災から時間が経つにつれ、被災地の状況について入ってくる情報量が少なくなり、そのため、「だいたい復興も進んでいるのではないか」「そろそろ復興支援も終わりにしていいのではないか」と感じていらつしやる方、そして「地震の危険性については考えていても不安になるばかりなので、もう地震のことはあまり見聞きしたり考えたりしたくない」と感じていらつしやる



方も少なくないようです。
そんな中での今回の視察でしたが、水に浸かった家や、崩れた店舗などがそのままの所も多く、まだまだ復旧・復興のめどが立たない状況です。
今回の定例会では、被災地で見聞きしたことや、中野区内で活動をされている方々の声をもとに、一般質問で被災地支援に関する質問をしました。
首都圏でも大きな地震が起こると言われている中、被災地支援の経験の中野の区政に活かすことも視野に入れて積極的な支援を継続的に行うことが必要です。また、何かあった時にはお互いに助け合うという関係を遠く離れた地域とも積極的に築いていくべきだと思います。

石坂わたる

お茶会はじめました

お知らせ

今年8月から毎月お茶会を開催しています。石坂わたるからの区政報告の他に、みなさんが日頃感じている思いなどについて話をしています。

また、お茶会では「中野の課題と強みを把握した上で、課題の解決に向けて何ができるのか」をみんなで考えるワークショップを始めました。「狭い道路が多くて火災が心配」「中野に長く住んでもらうにはどうすればいいんだろう?」「ボランティアなどの公益活動を活発にするには?」など、毎回たくさんの意見やアイデアをいただき、それをもとに、より暮らしやすい中野を作るために何ができるのかを考える作業をしています。ぜひご参加ください!

予約不要 途中入場可 飲食代は各自負担

今後のお茶会の予定

- ▶ 11月9日(金) 19:00 ~ 21:00
キッチンそら (中央 5-48-5)
※中野駅南口から徒歩 6分
TEL 03-5340-7803
- ▶ 11月25日(日) 15:00 ~ 17:00
風花 (東中野 3-2-7)
※東中野駅西口から徒歩 3分
線路沿い明大中野高等学校手前



▲ワークショップで参加者が書いたご意見

平成24年第3回定例会
(9月20日～10月22日) 一般質問

安全な中野駅を作ろう

石坂 中野駅は今後さらなる利用者増が見込まれているが、改札が混みあわないよう改善をJRに求めていくことが必要では？ また、ホームドアやホーム柵といった転落防止策などの安全対策が必要では？

区長(田中大輔) 区としても安全対策が必要であると認識を持っていて、JR東日本に対して働きかける。

石坂 中野駅前の点字ブロックは途切れていたり、弱視の方が見えづらい灰色のブロックがある。視覚障がい者の声も聞きながら計画することが必要では？

区長 道路の移動円滑化整備ガイドラインなどに基づき整備を進めている。色彩は、視覚障がい者等の意見が反映されるよう留意して決定する。

石坂わたるの目



区民の方からの声をもとに駅前を確認してみると改善すべき点が多く見つかりました。
改札の改善については、時間切れで答弁なしでしたが、今後の取り組みに期待します。

精神障がい者の地域移行支援

石坂 現在、生活保護を受けている入院中の精神障がい者の地域移行支援は、障がい者にとつての福祉向上にも、区の財政負担削減にもなる。区の現状と今後の方策は？

健康福祉部長(田中政之) 関係部署や事業者と、地域移行支援連絡会を定期的に開催し、情報の共有化や連携を図っている地域相談支援の充実を図る。

石坂 不動産屋や大家に、精神障がいや地域移行支援に関する区の取り組みを知ってもらうことが必要では？

都市基盤部長(尾崎孝) 不動産関係団体とは定期的に意見交換の場を設け、協力を依頼しており、今後とも精神障がいに関する啓発や区の支援策等の周知を図ってまいりたい。

石坂わたるの目



地域での支援不足など、社会の側の都合による長期的入院を社会的入院といいます。本人の自立的な生活を妨げ、財政負担にもなるため、地域移行の支援が必要です。積極的な答弁をいただけたので、実現されるよう注視していきます。

区民公益活動をどう支えていくか？

石坂 「区民公益活動に関する政策助成」において、「被災地への支援活動」「被災地へ行くボランティアの育成」「被災地からの避難者のための活動」も助成すべきでは？

地域ささえあい推進室長(瀬田敏幸) 「ボランティアの育成」「避難者のための活動」は、助成対象。「被災地での支援活動」については検討したい。

石坂 区民公益活動推進基金への寄付を集めるための工夫は？

地域ささえあい推進室長 PRに加え、区内の公益活動の事例も紹介してまいりたい。

石坂 中野ボランティアセンターによる被災地支援活動の資金は、エコたわしの販売や使用済みインクカートリッジの回収で賄われている。活動を支援するため、区役所庁舎でもインクカートリッジの回収ボックスを設置しては？ (答弁なし)

石坂わたるの目



被災地でのボランティア・視察を経て、まだまだ支援の継続が必要だと実感し、質問しました。時間切れで答弁がいただけなかった点についても、今後の対応に期待します。

決算特別委員会
(10月2日) 総括質疑

HIV・エイズの予防啓発を

石坂 他区と比べ、中野区はHIV・エイズによる障害者手帳の所有率が高く、右肩上がりが増加している。エイズ予防指針では、青少年・同性愛者・外国人・性風俗産業従業員とその客を、人権や社会的背景に最大限に配慮すべき個別施策層であるとしている。中野区でも工夫すべきでは？

健康福祉部参事(保健予防担当 向山晴子) 12月のエイズ予防月間を中心とした啓発や、個別施策層への啓発の充実を検討する。

石坂 感染予防という観点では、検査で結果を知るだけでなく、知識や理解を高め行動変容を促すことが必要。中野区の即日検査はその場でNPOの相談員と話ができ、好評。どのような評価をしているか？

参事(保健予防担当) HIV検査は受診者の心理的な負担が大きい。カウンセリング等、受診者の心理的な負担軽減と受診しやすい環境に配慮された事業であると認識している。

ひきこもり・不登校の把握と支援を

石坂 社会的ひきこもりの方の3割に

小中学校での不登校経験が認められるとされる。在学中は様々な支援があるが、卒業後はどのような支援を行うのか？

子ども教育部副参事（子育て支援担当 黒田玲子） すこやか福祉センターで支援を行っている。学齢期以後の支援

引き継ぎも継続して検討する。

石坂 成人のひきこもりについても家族を含めた支援が必要。対策をする上で、ひきこもりが関係するケースを集約し、事例を把握する必要がある？

驚宮すこやか福祉センター

副参事（地域ケア担当 齋藤真紀子） ご

本人やご家族の方について、精神保健相談事業などを通じて把握に努めている。



▲7月22日 新山小学校 夏まつりにて

発達障がい児・者に継続的支援を

石坂 中野区では、発達障がいについて相談・対応ができる場所が複数ある。どの窓口でどんな支援ができるのか積極的に打ち出し、区報等で取り上げるなど、わかりやすくできないか？

副参事（子育て支援担当） お話を聞き、適切な専門の相談や機関につなげている。区報等で発達障がい等について周知することも検討している。

石坂 児童虐待の事例には発達障がいの子も多い。虐待による不適応的行動、不登校、ひきこもりなどの二次障がいに至る前に、適切な支援に結びつけられないか？

副参事（子育て支援担当） 保護者支援を充実させることも大切。今後も専門相談の機会を活用し対応する。

石坂 障がいや生きづらさ、不便を抱えている大人が、子ども時代であれば受けられた支援や捕捉の網の目から漏れないようにお願いしたい。

※区報10月20日号特集「発達障がい」で窓口・問い合わせ先が明記されました。

子ども文教委員会

6月13日

新設する中野神明小学校特別支援学級（知的障がい）の整備（Ⅱ新設）について、特別支援に慣れた教員の配置を要望。川島教育委員会事務局指導室長は、「人事について最大限配慮し、他校と連携し濃密な研修会を行った。教員の質の確保に努めたい」と答弁。

子ども文教委員会

8月30日

発達障がい児や重度・重複障がい児が成人になったときの障がい者福祉の枠への移行、情報提供の現状について質問。黒田子ども教育部副参事（子育て支援担当）は「個別支援計画を立てて申し送りなどを行い、大人になる段階でも障がい福祉担当と情報共有をしていく予定。より連携が密になるよう検討を重ねる」と答弁。

子ども文教委員会

8月30日

いじめと自殺の関わりや対策・対応について質問。川島教育委員会事務局指導室長は「いじめによる自殺は絶対に起こしてはならない。命の大切さを伝え、大人も社会もちゃんと対応していく。いじめ解決については事例に応じてよく相談して決めるべきだと考える」と答弁。

地域支えあい推進特別委員会

6月15日

地域支えあい事業について、支えあいネットワークにまだ参加していない町会への働きかけや情報提供の状況を質問。遠藤地域支えあい推進室副参事（区民活動センター調整担当）は「地域での支えあいを非常に重要な施策と考え、区職員、担当部署を挙げて取り組んでいる」と答弁。

地域支えあい推進特別委員会

8月1日

すこやか福祉センターでは24時間体制で緊急連絡体制整備とされたが、電話番号は一般には公開されていない。連絡先を知っているのはどの範囲の人たちなのか、どのような問題に対応できるのか質問。遠藤地域支えあい推進室副参事（区民活動センター調整担当）は「電話番号を知っているのは支えあいネットワークの見守り活動の研修を受けた方に限られる」と答弁。支えあいネットワークが進んでいない地域はサービスが薄くなるため、何かしら対応できるよう対策を要望した。

議会を終えて

区内4カ所のすこやか福祉センターの展開や、中野駅北口整備や四季の森公園の開園など様々な変化が進んでいます。区民の方から「詳しく知らない」「不便なところがある」という声もいただきます。実際に利用する区民の目線に沿った展開や改善を進めていけるように、今後様々な取り組みや働きかけをしていきたいと思います。



みんなで、一人ひとりが尊重しあえる街をつくるためにがんばります



お話をうかがいます

▶中野区議会内では、無所属議員控室に在室しています。

ご相談・ご意見をうかがいますので電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、おうかがいします。

ボランティア募集!

中野区内でのたつのご通信の配布、郵送準備などをお手伝いしてください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません(50部程度から可能)。

メールニュース配信中!

議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。

通信を郵送します!

たつのご通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。



● 次回学習会のお知らせ ●

みんなで知ろう HIV・エイズの基礎知識

中野区は、HIV・エイズによる障害者手帳交付数が他区に比べ高く、毎年右肩上がりで増加しています。新たに HIV に感染者する人や、エイズを発症する人の数を減らすには、関心や知識を持つこと、検査を受けることが大切です。12/1の世界エイズデーにちなみ、SCORAさんとサクライケイスケさんに、HIV・エイズの基礎的なお話をうかがいます。

講師: SCORA(性と生殖 AIDS に関する委員会)
サクライケイスケさん(ジャンププラス)

日時: 12月9日(日) 14:00 ~ 16:30

場所: 桃園区民活動センター

(中央 4-57-1 中野駅南口徒歩 10 分)

参加費: 100 円(資料・お茶代)



若手議員が語る「政治と生活」

福祉系の無所属議員の先輩である、文京区議会議員の前田くにひろさんをお招きして学習会を行いました。高齢者の施設介護や在宅介護など、中野区と文京区それぞれの福祉政策を中心にお話が展開しました。また、前田さんが議員を志すきっかけとなったお母様の若年性アルツハイマーについてや、文京区に認知症グループホームを作った話などうかがうことができました。

また、参加者の方から、今後の中野区政での課題になるような様々なご意見をいただくこともできました。特に、「中野駅のホームの安全対策」のご意見については、他の参加者の方からも他の駅や自治体の取り組みの情

報もをいただき、こうした声が今回の議会の一般質問につながりました。学習会やお茶会ではみなさんの声をよく聞き、現場をよく見て、よく考え、しっかりと質問や提案にしていけるよう今後

学習会
レポート

8月31日

みんなをつなぐ 石坂わたるの活動報告

- 6/25・28 7/5・6 上高田小学校・若宮小学校・塔山小学校・中野中学校の情緒障害特別支援学級視察
- 7/8 2011年度 akta 活動報告会「Safer SEXって?」
- 7/9-10 日本精神保健福祉士協会主催精神障害者の地域生活移行支援に関する研修
- 7/11 東京都行政書士会中野支部主催産業廃棄物に関する研修
- 7/12 コープとうきょう中野コープ会「社会保障について」本郷小学校弱視特別支援学級を視察
- 7/14 谷戸小学校学校公開を参観
- 7/15 発達障害者の当事者団体 Alternative Space Necco にて講演会講師
- 7/16 シンポジウム「学びにくさを持つ子どものための中学・高校選び」
- 7/18 中野区福祉団体連合会納涼会
- 7/19 中野区国際交流協会夕涼み会
- 7/20 中野区医師会納涼懇親会
- 7/21-22 被災地東松島市鷹来森仮設住宅夏まつりボランティア、東松島市・石巻市視察
- 7/24 中野区障害者地域自立生活支援センターつむぎセミナー「知的障害者の『ひきこもり』への支援」
- 7/26 夏季臨海学園に代えて行われる「海での体験事業」事前指導の視察
- 7/28 コレクティブハウス大泉学園を視察
- 7/30 21世紀社会デザイン学会コミュニティ政策研究会
- 7/31 こども科学教室～自然体験コース～高尾山登山・間伐体験等引率
- 8/3 松が丘シニアプラザにて夏体験ボランティア
- 8/4 区内避難者支援イベントボランティア 成蹊教育会
- 8/7 堀江高齢者会館 夏体験ボランティア
- 8/11 中野区後援で制作された映画「はさみ」上映会 性的マイノリティパレード「Save the Pride!」
- 8/12 LOUD オープンデー



- 8/18 中野 ZERO エコフェスタ
- 8/22 中野区立中学校 PTA 連合会との懇談会
- 8/26 南台二丁目前原町会子ども神輿の手伝い 中野区地域生活支援センターせせらぎ精神保健福祉講座「発達障害当事者から見た精神医療」～統合失調症との違い～
- 8/30 特別区議会議員講演会「公共施設老朽化とシティ・マネジメント」
- 8/31 中野区町会連合会との懇談会
- 9/2 中野区総合防災訓練(中野区立第十中学校)ボランティア
- 9/8 江古田小学校学校公開を参観
- 9/9 日本防災士会中野支部・中野一丁目町会合同講演会
- 9/10 やよい子ども園(認定こども園)視察
- 9/11 文京区立柳町小学校特別支援教育に関する視察
- 9/12 認定こども園みずのとう 視察
- 9/15 トークイベント「親子って何だろう? LGBT の親子関係を良くするレシピ集」出演
- 9/15-16 エカイエ楽楽市
- 9/17 東京国際レズビアン&ゲイ映画祭
- 9/18 中野区商店街連合会との懇談会
- 9/18 オランダ王国大使館主催講演会「日本の LGBT 権利確立に向けて: オランダの経験から」
- 10/6 中野区立小学校 PTA 連合会コーラス発表会に谷戸ほのぼの Family 合唱団の一員として参加・合唱
- 10/7 中野区東部まつり、起創展街中野にぎわいフェスタ 南中野地区まつり
- 10/7 東友会 原爆犠牲者慰霊碑移転と追悼のつどい 中野区・杉並区の商店街連合会合同イベント「観光まちづくりシンポジウム」
- 10/13 中野区障害福祉会館まつり、中野区花と緑の祭典・東北復興祈念展・青森人の祭典
- 10/14 南中野地区運動会



すべてのお問い合わせはこちら! ↓↓↓ バックナンバーのお問い合わせもこちらまで!

☎03-6304-8758(事務所) または 03-3228-8874(無所属控室) ✉09wishizaka@mbr.nifty.com



視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのご通信(ダイジェスト)をご用意できます。